



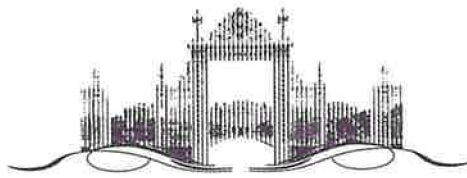
Rotary International

LEAD THE WAY

率先しよう

2006～2007年度

国際ロータリーテーマ：ウィリアム・ボイド会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.955 / 2007.6.8

例会／毎週金曜日12:30

例会場／東京全日空ホテルTel 03-3505-1111

事務局／〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「これまでも、これからも 皆で築こう赤坂ロータリー」

2006～2007年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ／荒木昭文会長

●本日の例会／2007年6月8日第978回例会

本年度第6回・次年度第1回クラブ協議会

「本年度各委員会活動報告と次年度各委員会活動計画」

(例会後 13:10～14:30)

— ●先週報告／2007年6月1日 第977回例会 —

◎卓話

『東アジア経済を中心とする
国際経済概況と中国』

愛知淑徳大学
ビジネス学部教授
真田 幸光 氏



幹事報告：

2006-2007年度クラブ活動報告書を未提出の委員長は、至急提出くださいますようお願い申し上げます。

広報委員会：(村山委員長)

ロータリーの友6月号のお知らせ。横組みP34～P35に地区便りとして、2750地区で行われた「識字シンポジウム」と「環境シンポジウム」の報告が掲載されています。今月号は特に面白い記事が多数ありますので是非ご一読を。

慶事披露：

100%出席祝／西澤正雄君(13年)、早川清隆君(6年)



出席報告：

会員55名／出席30名・欠席25名(出席規定免除者5名)

ビジター／松木康夫(東京南RC)、絹川治(東京大阪RC)

計2名(順不同・敬称略)

ゲスト／真田幸光(卓話者)、山中信六(ゲスト)

(敬称略)

●次週予告／2007年6月15日第979回例会

◎卓話予定 イニシエーションスピーチ

『我 趣味に生きる』

当クラブ会員 鶴間 喜久男 君

ロータリーの特別月間とは (Special Months in Rotary)

当クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー(RI)理事会が指定した月間のことです。

今月の月間は、6月 ロータリー親睦活動月間 (Rotary Fellowships Month)です。

「ロータリー親睦活動」は、国際奉仕の一部門です。現在、約80の親睦グループがあり、趣味や職業活動を通じて、国際親善と奉仕に貢献しています。ガバナーは、地区に地区親睦活動委員会を設置するよう奨励されています。

より多くのロータリアンが、親睦活動に参加することを奨励するために、この月間が設けられました。

(『ロータリーの友』2002年12月号掲載)

銃乱射事件の被害者を元気づけるため

4月16日、アメリカ・バージニア州ブラックスバーグにあるバージニア工科大学で起きた銃乱射事件について、その被害者たちに手を差し伸べようと、地元のロータリアンたちが立ち上がりました。

この事件では、チョ・スンヒ容疑者により学生ら32人が殺され、25人もの負傷者が出ました。クリスチャンズバーグ・ブラックスバーグロータリークラブは、4月16日の夜間例会で、いかに救済の手を差し伸べるかを話し合いました。そして、ジャネット・ジョンソン会長は「この緊急時においては、大学側が被害者支援のために設立した基金(Hokie Spirit Memorial Fund)を支援するのが、私たちができる最善の策でしょう」と述べ、多額の支援金を寄付しました。

また、同クラブ会員たちは、寮で生活する学生のうち、そこを出たいと望んでいる人たちや被害者の家族に自宅での宿泊を提案。多くの会員が被害者たちを元気づけるため、時間を割いてキャンパスで活動しています。

(「友」インターネット速報 2007年5月7日 NO.283 より)



6月1日／8件 16,000円／本年度累計1,276,335円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

荒木昭文／真田幸光さん、卓話よろしくお願ひします。石井謙次／尾関さん御苦勞様。いよいよ幹事、今月一杯です。入沢頼二／尾関さん、おつかれ様です。武下朗／尾関さんイイ天気ですね。四分一勝／先日の誕生日祝ひ有難うございます。西澤民夫／そろそろ梅雨ですかね。尾関さん御苦勞様です。福島賢哉／新緑の美しい季節になりました。尾関さんニコニコ御苦勞様です。尾関武男／ニコニコのご協力ありがとうございました。

能楽五徳 (その2)

リラクセーション

「能は難解だ」「難しい言葉ばかりで、意味が理解できない」とよく言われます。しかし、明治維新以前の標準語教育が普及する前は武士階級の共通語で、当然士農工商の順でそれなりに理解されていました。でないと、無礼者!で首が飛びますから…。明治維新直前の戊辰戦争でも薩長を中心とする官軍と東北諸侯軍は薩摩弁と東北弁では全く通じなかったのです。能の言葉で戦闘停止交渉を行ったそうです。お陰で明治以降活躍する若者の命がどれほど救われたか分かりません。おっと、脱線しそうなので元に戻します。

慣れてしまえばそれほど難しくないので、能の難解な言葉は脳を思考停止状態に追い込みます。昔、学校で数学や哲学を習ったときのことを思い出していただければよくお分かりだと思いますが、視界がだんだんぼやけて来て、先生の声がはるか遠くへたなびいて行き、そして気がついたら机に顔を付けて涎を垂らして眠りこけていた…私も午後の1限目の授業でよくやりました。でも、この居眠りって、とても気持ちのいいものです。また、謡い方(地謡といいますが)の声も子守唄と似たような抑揚がついており、観客を眠りに誘います。さらに、鼓や笛(囃子方といいますが)は、一見甲高い音で眠りを邪魔するように聞こえますが、「やあーっ、はあーっ」というテンポが「こっくり」のテンポとあっているため、私などは鼓の第一声を聞いただけでまぶたが重くなります。レベルの高いオーケストラでも結構寝ている聴衆がいますが、それと同じですね。

では、なぜ能役者たちはこうまでして観客を眠らせようとするのでしょうか。それは能のテーマと大に関係しています。能の演目の多くが、前後2段の構成となっており、前段の主人公(前シテといいますが)は、人間の形をして現れ、由来を語り、途中で退出します。そして、助演(ワキといいますが。多くは僧や山伏で、霊力がある)が明け方近くにまどろんでいると、後段の主人公(後シテといいますが)が、幽霊や亡者、時には神の姿で再登場します。ワキに吊ってくれた札を述べ、舞を舞って明け方の薄明かりや霞の中に消えてゆきます。ワキ方が本来見えるはずがないものが見えるのは半覚醒状態にいるという設定になっています。そして観客にも霊である後シテの姿が見えるように、能役者たちは一生懸命観客を半覚醒状態にトリップさせるのです。

このとき観客の脳内はどうなっているのでしょうか。アルファ波が充満しています。ある人は前席の観客の後頭部からアルファ波が立ち上っているのが見えたといえます。脳内にアルファ波が多くなると脳内麻薬といわれる快楽ホルモンのベータエンドルフィン、やる気ホルモンのドーパミン、幸福ホルモンのセロトニン、恋愛ホルモンのPEA等が脳内に分泌されます。このベータエンドルフィンとはストレスを取り去り、痛みを取り去る物質で、その効果は麻薬で良く知られています。ベータエンドルフィンが脳から放出されると、心は幸せな気持ちになり、身体の疲れは消えます。脳の疲れが取れると精神面が充実して創造性や、やる気が起きてきます。ぐっすり昼寝をした後の爽快さと同じかそれ以上の効果がえられるわけです。

昔、侍たちの日常生活は、常に刀の柄に手をかけて暮らすという、非常な緊張下におかれていました。強いストレスが続くと平常の人格を保てなくなるのは、現代の産業戦士にも良く見られることです。能を見ることでこうしたストレスに対抗した、まさに生活の知恵であったわけです。大名諸侯がお抱えの能役者を持ったのは、今で言うプライベート臨床心理学士(ヒーラー)雇っているようなものでした。

でも、「能役者の前で眠るのは失礼ではないか」とお考えの

方もあるかと思いますが、舞台の上の能役者は「今日は何人、眠った」と微笑えんでいるそうです。下手な謡い方では観客を眠らすことはできませんから。役者の力量を示す一種のバロメーターです。

お疲れ気味のあなた、街角の睡眠サロンもいいですが、「能を見て、元気になろう」のほうが格好いいとは思いませんか?

なお、ストレスやリラクセーションについては、9月7日の卓話で詳しくご紹介しますのでご期待ください。

歌舞伎鑑賞会

5月23日(水)夜の部、赤坂RC専用席確保親睦委員会のお楽しみお誘い行事をとり行いました。当クラブ会員荒川欣也さんと市川左團次さん出演の團菊祭五月大歌舞伎鑑賞でした。左團次さんは、NHK大河ドラマ「風林火山」6月10日放映など、TV・映画・演劇に出演される多忙な芸能活動をされています中での公演で、「神明恵和合取組・め組の喧嘩」等を楽しんで参りました。



幕後、銀座らん月にて「左團次さんを囲む会」を企画。舞台役回り終了後、早々とダンディースタイルに早変わりした左團次さんに迎えられ、当クラブご夫人方は、大満足。今回の歌舞伎演目は、古典的な歌舞伎、歌舞伎ならではの艶やかな舞台衣装の歌舞伎、歌舞伎らしからぬスケールの大きい舞台劇的な歌舞伎など、私の知る伝統芸能に新たなページをもたらしました。そんな歌舞伎鑑賞会後の二次会ですから話題に事欠かず、にわか禁煙個室でも皆さん咽をからして歓談し、楽しい歌舞伎鑑賞会のお開きとなりました。当クラブの親睦活動の目玉になった鑑賞会、次回の企画を楽しみにしております。

(記: 竹本)

参加者: 荒川/荒木ご夫妻/石井ご夫妻/鶴間ご夫妻/吉岡ご夫妻/飯島ご夫妻/二宮(二宮ゲスト)西澤民夫/村山/竹本(順不同敬称略)

